Ⅱ　教育活動の概要

1．平成４年度カリキュラム運営

カリキュラム委員会委員長　中原　忠篤

平成４年度のカリキュラム委員会は，環境計画分野の委員が交代し，他の分野の委員は留任した。本年度の主な特徴は，平成５年度のシラバスを作成したこと，環境科学特別講義Ⅳ，Ⅴを本研究科のプロジェクト研究の成果を踏まえて開講し，特別講義Ⅵを地球環境の視点から企画したことなどである。

(1) 新入生ガイダンス

昨年とほぼ同様の方針で，以下のような日程で開催した。

ガイダンス日程表

	午　　前	午　　後
８日 (水)	入学式(10：00～10：26)	新入生ガイダンス（13：00～）C103 １．研究科長挨拶　(13：00～) ２．全体の概要と諸注意 ３．カリキュラム関係の概要説明(13：30～) ４．共通科目の概要説明　(14：00～) ５．環境科学実習の説明　(14：15～) ６．就職委員会の概要説明　(14：45～) ＜休憩10分＞ ７．教職員の紹介(各自１分)　(15：10～) ８．新入生自己紹介(各自１分)
９日 (木)	分野別ガイダンス　C103 自然環境（９：00～９：50）〔河村，古藤田，梶原，安仁屋，松本(栄)，安成，甲斐，小林，田瀬，＜鈴木＞〕 生物環境（10：00～10：50）〔高野，藤伊，藤井，及川，高橋，前田，斉藤，中村(徹)，鷲谷，＜腰塚＞〕 生産環境（11：00～12：00）〔石塚，河嶌，多田，田中，前川，臼井，手塚，東，森下，佐久間，関，久島，松本(宏)，＜池口＞〕	広領域カリキュラムのガイダンス(13：00～13：30)　C103 〔中村(以)，梶〕 分野別ガイダンス　C103 環境改善（13：40～14：30）〔中村(以)，日下部，中原，藤木，小沢，国府田，下條，佐藤(親)，島田，＜新井＞〕 環境政策（14：40～15：30）〔河野，中山，石見，佐藤(俊)，安田，吉川，＜森島＞〕 環境計画（15：40～16：50）〔糸賀，梶，黒川，小出，谷村，土肥，天田，石田，岩崎，熊谷，小泉，佐藤(洋)，田島，日端，大沢，小場瀬，＜歳森＞〕
10日 (金)	２年生修士論文テーマ発表会　C103 （９：00～15：35） 発表時間：一人３分(発表１分30秒，質問１分30秒) 口頭により学籍番号順に発表する。	２年生ガイダンス＜２年生＞ C103　(15：45～17：00) １．研究科長挨拶 ２．就職について ３．カリキュラム・修論について

(2) ２年生の研究テーマ発表と研究計画の登録

標記事項は，４月10日(金)９：00～15：35に開催し，以下のとおりまとめられる。なお，欠席者は，修論担当教官によって確認されたため，研究計画の登録が行われたものと認定した。

在学者　129名

（内　休学等で修了しない者　12名）

（内　1学期末修了予定者　　1名）

発表対象者　　116名

発表者　　114名

欠席届け提出者　　2名

(3) 環境科学Ⅰ・Ⅱ

共通必修科目である環境科学Ⅰ・Ⅱは，古藤田教授，糸賀教授をそれぞれの世話人として以下のような内容で実施した。

平成4年度

「環境科学Ⅰ，Ⅱ」の授業計画

環境科学Ⅰ　　世話人　古藤田一雄

	月　日	テーマ	担　当
1）	4月13日	大気環境	河村　武
2）	4月20日	海洋環境	高野　健三
3）	4月27日	地水環境	古藤田一雄
4）	5月14日	土壌環境	多田　敦
5）	5月18日	陸域生態系	及川　武久
6）	5月25日	水域生態系	前田　修
7）	6月1日	化学物質と環境	手塚　敬裕
8）	6月8日	環境化学物質と生物	臼井　健二
9）	6月15日	物質循環と微生物	中原　忠篤
10）	6月22日	環境と人間	下條　信弘
11）	6月29日	〈期末テスト〉	（古藤田一雄）

環境科学Ⅱ　　世話人　糸賀　黎

	月　日	テーマ	担　当
1）	4月17日	自然とは何か	佐藤　俊
2）	4月24日	原風景としての環境	田島　學
3）	5月1日	環境工学の体系化とエコロジカル・プランニング	吉川　博也
4）	5月8日	社会環境の総合評価	安田八十五
5）	5月15日	住居環境の保全と排(廃)水・廃棄物の処理	中村　以正
6）	5月22日	都市施設の整備	谷村　秀彦

7）	5月29日	都市居住環境改善	日端　康雄
8）	6月5日	居住環境のデザイン	小場瀬令二
9）	6月12日	人間による農村居住環境改善と自然環境の保全	佐藤　洋平
10）	6月19日	自然防災の制御	天田　高白
11）	6月26日	まとめ及び期末テスト	糸賀　　黎

(4) 修士論文中間発表

研究科全体の中間発表会を9月2日(水)9：00～15：30に開催した。以下のとおりまとめられる。分野別中間発表会は，10月～11月にわたり各分野で開催された。

在籍者	128名
（内　休学等で修了しない者	14名）
発表対象者	114名
発表者	108名
欠席届け提出者	5名
無断欠席者	1名

(5) 環境科学特講

環境科学の最新の諸問題をトピックスとして取り上げる環境科学特講は，本年度はⅣ～Ⅵを開講した。特講Ⅳは「アジアにおける都市化と環境問題」，特講Ⅴは「霞ヶ浦」として，環境科学研究科プロジェクトの成果に基づき，学内の教官が担当した。また，特講Ⅵは「人と生き物にやさしい地球環境論」と題して，学内の教官と三菱化成生命科学研究所の米本昌平氏が担当した。なお，世話人教官は，Ⅳは石見助教授，Ⅴは河野教授，そしてⅥは安成教授が当たった。

環境科学特講Ⅳ　『アジアにおける都市化と環境問題』

テーマ	担当者	月　日
1．アジアにおける農村社会論 —タイのcase—	岩崎　駿介	9月2日
2．農村から都市への人口移動と 都市での生活(スラム)	石見　利勝	9月30日
3．環境問題に対する公的取り組み 土地管理，住宅・住宅環境改善	石見　利勝	10月7日
4．環境問題に対するNon Governmental Organization(NGO)の取り組み	岩崎　駿介	10月21日

5．アジアにおける環境問題の様相　　岩崎駿介／石見利勝　　11月４日

授業出席者とのFree discussion

この講義は上記の水曜日の５，６時限に開講された。

環境科学特講Ⅴ　『霞ヶ浦』

テーマ	担当者	月　日
1．霞ヶ浦をケースとした環境アセスメント	吉川　博也	1月20日
2．霞ヶ浦水質浄化の動学的最適政策	河野　博忠	1月27日
3．霞ヶ浦の開発と環境保全に関する社会的便益費用分析	安田八十五	2月３日
4．霞ヶ浦の資源価値	石見　利勝	2月10日
5．総合討論		2月17日

この講義は上記の水曜日の５，６時限に開講された。

環境科学特講Ⅵ　『人と生き物にやさしい地球環境論』

テーマ	担当者	月　日
1．“地球環境問題”における問題点	安成　哲三	12月16日
2．砂漠化と人間活動 ―ゴビ砂漠のオアシスを例に―	甲斐　憲次	12月16日
3．生物圏にとっての地球環境	及川　武久	12月16日
4．人類学からみた地球環境論	佐藤　　俊	12月17日
5．地球環境問題の科学と政治	米本　昌平	12月17日

この講義は，12月16日(水)，17日(木)に集中講義として開講された。

(6) 修士論文発表会

昨年度に引き続き，カリキュラム委員会が担当して，平成５年２月８日(月)，９日(火)の２日間にわたって，１人当たり16分(発表12分，質疑４分)の発表会を行った。

在籍者	126名
発表者	106名（内１名は留年）
留年者	18名
退学者	3名
修了者	105名